

海老津駅南開発：岡垣町議会、是非問う住民投票条例案を否決／福岡

毎日新聞 2013年07月12日 地方版〔北九州版〕

岡垣町が進めるJR鹿児島線・海老津駅南側の開発事業の是非を問う住民投票条例案について、町議会は11日の本会議で反対多数で否決した。

西田陽子前町議ら3人が共同代表を務める住民グループが5月、住民投票条例の制定を求める署名3035人分を町に提出。町は6月、条例制定を請求するために必要な有権者の50分の1（530人）以上を上回る2939人分の署名が有効と判断した。

これを受けて、町は反対の意見書をつけて条例案を町議会に提出し、本会議で採決の結果、7対4の反対多数で否決された。西田さんは「3000人近い民意が反映されず残念」と話した。

町が駅南側の道路建設に着工しているのに対し、条例制定案では駅の南北を結ぶ地下自由通路（事業費8億4000万円）と、駅南側広場（同2億6000万円）の整備は住民投票で民意を問うべきだとしていた。【穴戸護】